

議会のひろば

Okaya City Assembly News

July 22, 2026

そこが
ミッ!

ぎかいのいろはを学ぶ

p.2

p.3

そこが
ミッ!

市議会をひらく、広報する

p.8

p.9

Topics

県下有数の
みそ生産地、岡谷

製糸業の発展とともに味噌も大きく生産量を伸ばした。現在でも多くの蔵が、私たちの食事、そして健康を支えています。蔵のつくりも含めて伝統の重みと温かみを感じます。

議会の役割とは？

私たち議員は市民からの付託に応える義務を自覚し、日々活動するとともに、議会として様々な議案に対し、慎重に誠実に調べ議決等していきます。

さらに、議会は、議会の責務及び活動原則として、政策立案及び政策提言により、住民意見の市政への反映に努めるとともに、市長その他の執行機関の行政運営について監視及び評価を行う機能を担います。

今号では、議会の仕組みや取り組みなどを改めてお伝えします。

議長は、議場の秩序保持及び議事整理、議会の事務を統理し、議会を代表します。なお、市議会において、副議長とともに、任期中は会派には属しません。



吉田 浩 議長

ぎかいのいろはを学ぶ



議員任期最終年度です。市民からの付託をこれまで同様自覚し、議員一人ひとり、そして議会として活動していきます。



案内人

議会広報広聴委員会
山崎 仁 委員長

まず、議会についてイメージする

「一般質問」について

一般質問は各議員が、議員主導による政策議論のもと、市に対して質問するものです。

議会では、「質問」と「質疑」を明確に使い分けています。質問とは、内容が単に事務的な見解をただしたり、制度の内容説明を求めるものにとどまりません。例えば、議員が市民や関係機関等において調査、研究し、市に対して考え方等を問うものです。一方、質疑は、議案に関する疑問点を明らかにするものです。議員は「質問」では自身の意見を述べることはできませんが、「質疑」では意見を述べることができます。

次に**委員会**には、常任委員会として、「総務」、「社会」、「産業建設」の3つがあり、各所管事項の「議案」の審査のほか、2年に1回、市側へ**政策提言**を行います。

政策提言は、2年間で各委員会により、所管事項を中心に調査研究し、議会の総意として市長へ提出する流れとなっています。

常任委員会での調査・研究
意見交換・現地査察・行政視察、勉強会・懇談会など
～令和8年10月頃

政策討論会議
提出された素案を全議員で討論
令和8年11月頃

議会運営委員会
成案提言に向けて、諮る
令和8年12月

提言書の提出
議長から市(市長)へ提出
令和8年12月

会派について

議会基本条例において、「議会は議会活動を円滑にするため、基本的な理念を共有する議員により「会派」を結成することができる」とされています。議会開会中に限らず、様々な調査・研究を行う、活動の基本的な集まりです。以下、現在の会派等をご紹介します。

おかや未来研究室

「活力ある明日の岡谷をデザインする!」をミッションに、市民に信頼される議員活動と地域の発展に取り組む会派です。会派に所属する7名の議員は、それぞれ異なるバックグラウンドを持ちながら、多様な市民が暮らす岡谷市の「ミニチュア版」として、市民目線で岡谷市の未来を見据えた議論を重ねています。市政のチェック機能、市民意見の収集と反映、未来志向の政策提言を活動の柱とし、市民の福祉と生活の向上と希望に満ちた未来に向けた持続可能なまちづくりの実現を目指して活動しています。

(文責: 中島秀明代表)

日本共産党岡谷市議団

「市民の苦難軽減を柱に活動する」

毎週、議員団会議を持ち、行動予定を確認しています。定例会前には議案の討議、意見書、請願、陳情などしっかりと準備します。一般質問には定例会前に「市民と語る会」を開き、市民の要望を聞いています。県内の共産党議員の交流・意見交換会に参加し学習しています。3常任委員会の情報を交流し、各々の地域及び団体の活動も共有します。個々に相談があった場合も議員団として対応しています。

(文責: 早出すみ子)

やまびこ

会派やまびこは、2名の議員で構成し、会派出身者として副議長を送り出しております。

月に1回の定例会議や、年に数回の視察などを行い、市の抱える課題や市民要望に対する課題解決に向けて、先進地視察などを行っております。

会派名の由来のように「市民の思いや声に幅広く耳を傾け、速やかに議会活動に生かし皆様に恩返しをしたい」との思いを念頭に置き、岡谷市の更なる発展、市民福祉の向上に全力で取り組んでまいります。

(文責: 小松壮)

蒼政おかや

私たちが目指すのは「世代を超えて誰もが安心して暮らせるまちの実現」です。その実現のために大切にしていることが市民の声に耳を傾ける現場主義です。市民生活の中にある課題や地域からの様々な声を丁寧な受け止め、着実に政策へ反映するための草の根型の議員活動を実践しています。

そして、それぞれの議員活動をもとに会派として市民の皆さまとともに考え行動し未来につながる持続可能な岡谷市となるよう誠実に取り組んでいます。

(文責: 田村みどり)

無会派 (所属会派なし)



ズバリ！ 市政に問う！

令和8年第4回定例会(6月)
ダイジェスト版

質問	議員名	ページ
耐震診断・耐震改修の利用実績は？	渡辺 太郎	4
文化芸術の振興を図るため、計画の策定は？	宇野 香二	5
小中学校で必要な保護者負担の教材等の現状は？	上田 澄子	5
市内の医療機関等での分娩対応停止の受け止めは？	花岡 健一郎	6
学校における多文化共生の教育の状況は？	酒井 和彦	6
広域的都市経営の視点から市の認識する広域課題は？	今井 康善	7
災害関連死に関する制度・条例等の整備状況は？	丸山 善行	7
分娩を取り扱う医療機関が減少しているが？	秋山 良治	10
岡谷の魅力を未来へどうつなぐか？	土橋 学	10
全国で燃やすごみ指定袋が不足しているが、岡谷市は？	今井 浩一	11
諏訪地域の医療機関との医療連携への考えは？	中島 秀明	11
国の部活動のガイドライン見直し後の地域展開の現状は？	小松 壮	12
高額医療費制度とOTC類似薬の保険外しへの把握は？	笠原 征三郎	12
ナフサ不足の影響は？	早出 すみ子	13
指定避難所等における非常用電源の整備状況は？	藤森 弘	13
本年度の「地方創生伴走支援制度」の取り組み内容は？	田村 みどり	14

一般質問

●議員が、執行機関である市に対して、事務の執行状況や将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は“くじ”で決めています。

※なお、掲載内容は、質問者の文責によるものです。

岡谷市公式チャンネル

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



Q 「塩嶺小鳥バス」を特色ある地域資源として活用する考えは？

A 近年の気候変動対策と一体的に取り組みべきテーマとして、世界的に急速に重要性が高まっている。生態系の評価が難しく課題だが、環境省を中心に制度整備が進められており、情報収集に努める。

Q 生態系保護活動を可視化し経済的な価値に繋げる生物多様性クレジットについての認識は？

A 新耐震基準の住宅は所有者に耐震性能チェックのリーフレットを紹介。防災ベッド、シエルター、感震ブレイカー等の設置は有効な減災対策であり、県と情報共有し研究を深める。

自然との共生

Q 市耐震改修促進計画における新耐震基準住宅の対策、耐震シェルター設置支援等の考えは？

A 新耐震基準の住宅は所有者に耐震性能チェックのリーフレットを紹介。防災ベッド、シエルター、感震ブレイカー等の設置は有効な減災対策であり、県と情報共有し研究を深める。



渡辺 太郎



耐震診断は年平均40戸の申請がある。耐震改修は令和7年度から限度額を100万円から115万円に拡大し、申請件数は前年度4件に対し10件に増加している。

耐震診断・耐震改修の利用実績は？

Q 信州DC

A 生物多様性やネイチャーポジティブの考え方を体現し、シティブロモーションに繋がる大きな可能性を秘めている。活用について研究を深めていく。

Q 信州DC

A 諏訪地方観光連盟として広域で取り組んでいく。岡谷太鼓祭りや岡谷蚕糸博物館などを観光素材として誘客に繋げる。市観光案内所に諏訪九蔵の日本酒の試飲機を導入し経済波及効果をもたらしたい。

Q 若者や女性、インバウンドなど多様な層への情報発信は？

A SNSやHPを活用し発信を行っている。岡谷蚕糸博物館に来館した外国人は令和7年度は490人であり、年々増加している。



信州デスティネーションキャンペーン

文化芸術の振興を図るため、計画の策定は？

文化芸術を活かしたまちづくりはまちの魅力を高める有用な視点と受け止める。本市の計画策定については、県の動向等を踏まえて、機運の醸成に努めていきたい。



宇野 香二



Q 文化芸術振興計画策定の県内他市の状況は？長野県の動きとそれに対する市の取り組みは？

A 県内で計画策定は19市中10市。長野県は計画を策定しており、第3次計画を検討中、県の動向等を注視し市の施策を推進。

水害等への防災・減災対策

Q 平成18年豪雨災害後の砂防堰堤の設置状況とその効果は？

A 40基整備され現在44基。効果として、令和3年大雨災害時、小田井沢川4号砂防堰堤や本沢川砂防堰堤が土石流や流木を捕捉したことが確認された。

Q 新たな防災気象情報の変更点と市民への周知は？

A 河川氾濫、大雨、土砂災害等の情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表され、レベル4相当の情報として危険警報が新設。例えば「レベル3大雨警報」のように

発表され、避難の判断が容易に。周知は、広報おかわり6月号の掲載やホームページの活用など。

商業活性化について

Q 第2次岡谷市商業活性化計画の新規創業支援の課題として、特色ある飲食店の不足等が挙げられている。市民のニーズも踏まえた支援と特色ある店の状況は？

A 飲食店の新規創業では補助金限度額を引き上げて支援。令和6年以降飲食店の新規創業は7件、特色ある店が徐々に増えている。

Q 駅周辺整備による人の流れの商店街への波及はどのように？

A 駅周辺整備と商業振興策を一体的に推進することで、駅周辺から市内各所の観光資源と駅を繋ぐ動線を人々呼び込み、商店街のにぎわい創出に繋げていきたい。



心豊かで活力とにぎわいのあるまち

小中学校で必要な保護者負担の教材等の現状は？

入学時に必要なカバン、制服、体操着、運動靴等の他、リコーダーや絵の具セット、鍵盤ハーモニカ、彫刻刀や学年費、修学旅行積立金、部活費用等があります。



上田 澄子



Q 小中学校での教育費の実際の負担額は？

A 小学校年額86,000円、中学校121,000円程度であったが、4月から小学校給食費は完全無償、中学は3割公費負担となり減額されている。

Q 補助教材の公費購入は？

A 多額の財源と学校での管理が困難であり考えていない。

Q エアコン設置支援事業の状況と電気代補助について

Q 4月からの設置支援事業の申請状況と周知の徹底は？

A 5月末で生活保護世帯3件、住民税非課税世帯56件。周知では更なる情報発信に努めていく。

Q 夏の電気代補助の考えは？

A 電気代は、国が7～9月に標準世帯で5,000円程度の負担軽減策を実施する。市としては動向に注視していく。

中学校の部活動の地域展開について

Q 中学校の部活動地域展開の現状は？

A 令和6年に軟式野球部が初めて地域クラブに切り替わり、男女バレーボール部が合同部活動に切り替わる等順次進めている。

Q 教員の部活動における負担軽減と指導員の人材は？

A 教員の負担軽減では、地域クラブへの切り替え以外に部活動指導員の配置も行っている。人材については、部活の専門性と教育活動への理解も求められる。

Q 安全確保対策は？

A 各学校に改めて安全確保について通知した。地域クラブ活動も同様であり指導者にも安全の徹底を注意喚起している。

Q 平日の地域展開と教育の側面については？

A まずは休日から始めて、地域の活動に移っても教育的意義を継承していく。



部活動の地域展開



市内の医療機関等での分娩対応停止の受け止めは？



大変重く受け止めているが、近隣の分娩可能な医療機関が複数あり、安心して出産できる環境は確保されていると認識。妊婦からは今件の直接的な不安の声はない。



花岡健一郎



Q 子育て世帯への経済的支援は？

A 妊娠出産時には給付金や産後ケア利用券、乳幼児期には保育料軽減や副食費支援、物価高騰対策など、経済的支援を提供。

Q 一時預かりや病児病後児保育事業の利用状況は？

A 一時保育は、増加傾向にある。病児・病後児保育事業も委託先（山崎医院）に併設された施設で年間約450人の利用がある。

産業の振興について

Q 市内製造業の現在の景気動向、課題は？

A 最新の調査では、半導体や航空医療分野の需要増により、精密・機械など5業種で改善傾向だが、中東情勢による原材料価格高騰や調達不安、人手不足などが経営課題として挙げられている。

空き家対策について

Q 空き家の現状と推移は？

A 2013年度の551件から2024年度には1041件に増加。人口減少や高齢化、核家族化が背景にあり、一部損傷が見られるB判定の空き家が最も多い。

Q 相談体制と市民からの苦情への対応は？

A 空き家相談窓口を設置し対応。苦情（情報提供）があった場合は、現地調査後に所有者へ適切な管理を促す通知文書を送付し、改善が見られない場合は直接訪問するなど、粘り強く対応。



空き家の管理をしっかりと



学校における多文化共生の教育の状況は？



学習指導要領に則り、外国語科や社会科等において体系的に進めている。異なる文化や習慣を知ること子どもたちの意識や世界観を大きく育てたい。



酒井 和彦



Q 具体的な差別の事例を挙げての教育は？

A 社会科や道徳科の中で世界の歴史や人権を守ることの大切さを学習。

Q 食べ物に関する戒律のある宗教の子どもの食事は？

A 食物アレルギーのある児童生徒については除去食等の対応、宗教上の理由など家庭や個人の都合によるものはお弁当の持参等。

要望・ハイトスピーチ解消法の成立のエピソードを教育してほしい。給食は、宗教由来も除去食での対応やハラル等の体験給食も検討を。

社会教育における多文化共生

Q 周知啓発は？

A 多文化交流講座を開催する際にはチラシの作成、ホームページや広報おやかや、シルキーチャンネル等で広報。

市内の産業の後継者問題

Q 後継者問題の状況は？

A 人口減少・少子高齢化によりこれまで以上に厳しい。経営者への早期の意識啓発やマッチング支援に努めるとともに、多様な施策を展開し、積極的に取り組む。

Q 事業承継の意識づけは？

A 令和7年度には初めて諏訪圏5市町村と県事業承継・引継ぎ支援センターが連携し諏訪広域事業承継個別相談会を開催。今後体制を構築。



多文化共生



広域的都市経営の視点から市の認識する広域課題は？



人口減少や少子高齢化に伴う人材不足、公共交通や生活インフラの維持、地域経済規模の縮小、行政サービスの効率化、防災対策強化、DXによる業務改革、住民サービス多様化への対応など。



今井 康善



Q 広域連合で広域観光連携推進に関する提言への対応は？

A 広域行政と市町村の役割を整理し、6副市町村長による「協議の場」を設置。提言についても議論している。本年1月に広域観光の可能性をテーマに学習会を開催等、重要性を十分認識している。

Q 正副連合長会議及び副市町村長会議における共有されつつある共通課題はあるか？

A 「まずはできることから」との共通認識から、広域観光の連携推進、一部事務組合の連携推進、定住自立圏構想に関する調査・研究、広域に關係する国・県への合同要望、情報システムの共同調達に関する検討の5項目を協議中。

Q 市政施行一〇〇周年を見据えた諏訪地域の中での市の役割は？

A 各市町村が個性を発揮して一つの生活圈・経済圏として強い結びつきある地域として発展させていく。本市は、ものづくり技術や多様な産業集積の力を結集し、地域経済全体の活性化を牽引する他、質の高い子育て環境や生活基盤を整備、若い世代や子育て世代に選ばれるまちづくりに進め地域全体の魅力や満足度向上に貢献していきたい。

Q 市長が10年で実現したいことは？

A 産業振興はもとより、人材育成、子育て支援、地域資源の活用などを総合的に進めていく。



広域的都市経営の視点



災害関連死に関する制度・条例等の整備状況は？



岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例により、災害で亡くなられた方がご遺族と生計を主として維持していた場合に500万円、その他の場合は250万円を支給。



丸山 善行



Q どのような基準や手続きで判断しているか？

A 学識経験者などで構成される「岡谷市災害弔慰金等支給審査会」において判定が行われ、審査会は市長の諮問に応じて客観的な審査を実施。

Q 本市の現行制度・運用についての課題は？

A 災害弔慰金制度をはじめとする被災者支援制度が浸透していないため、災害発生時に制度の詳細な内容までが市民に十分に周知されにくいことや、制度の存在を知る機会も少ないこと。また、現行の法律では災害関連死の明確な定義や全国一律の認定基準が設けられていない中で、災害の規模や状況がそれぞれ異なることから、統一的な認定基準を設定することが困難。

第30回シルクフェアinおかや

Q 目的と記念イベントの内容は？

A 日本の近代産業の礎を築いた製糸業の中で、中核を担ったシルク岡谷の歴史を風化させることなく広く継承させていくことを目的に開催。記念イベントとして「トヨタ衣の里」プロジェクトによる「かいこの歌」の披露や、慶応義塾大学藤田康範研究会のゼミ生によるウエディングドレスのお披露目やノベルティとして旧岡谷市役所庁舎のペーパーフラフトを配布。

Q 実績と評価は？

A 昨年と比べ全体の来場者数は262人増の2656人、蚕糸博物館の来場者数は183人増の878人、新たに岡谷美術考古館が会場に加わったこと、記念イベントを実施したことが来場者増と賑わいにつながった。県外来場者が約10%のため、県外の方にも来場してもらえよう効果的な情報発信に努めたい。



平時からの備えが大切

く、広報する

興味を持っていただくために、さまざまな取り組みをしています。



中屋区の「乳幼児親子ふれあいのつどい」スキップなかや」、横川区の「横川っ子」の「図書館と議場見学に行ってみよう」より。



岡谷市議会
議会の見える化推進事業
議会出前講座

岡谷市議会では、市民の皆様は、市議会の仕組みや議員の役割を分かりやすく知っていただき、議会を身近に感じていただくため、「議会出前講座」を実施します。

議員が市内どこでもお話し、議会の中身や議員の活動を分かりやすく説明します。

※「議場見学ツアー」も実施中です！

内容	岡谷市議会の役割と、議員の仕事と活動内容等について説明・意見交換等
対象	市民・学校関係・企業・各種団体など
所要時間	概ね45分～90分程度
実施	適年(要調整)

無料でお申し込みいただけます。お気軽にご確認ください。

主催 岡谷市議会
申込先 議会事務局 0266-23-4811 (岡谷市役所 内線1711)

岡谷市議会
議会の見える化推進事業
議場見学ツアー

市役所の議場を気軽に見学してみませんか？

岡谷市議会では、市民の皆様は、市議会の仕組みや議員の役割を分かりやすく知っていただき、議会を身近に感じていただくため、「議場見学ツアー」を実施します。

※「議会出前講座」を専集中！

内容	議場・役員会室等の見学、議会の役割・議員の仕事の説明、質疑応答等
対象	市民・学校関係・企業・各種団体
所要時間	概ね30分～60分程度
実施	適年(平日・要調整)

無料でお申し込みいただけます。お気軽にご確認ください。

主催 岡谷市議会
申込先 0266-23-4811 (岡谷市役所 内線1711)

市議会の仕組みと議員の役割を知っていただくことを目的に、二つの新企画をスタートしました。通常は議会が開催される時にしか入れない議場を見学していただく「**議場見学ツアー**」と、議員が皆さんのもとを訪ねる「**議会出前講座**」です。

学校、企業、各種団体など、お気軽にお問合せください。

議会の見える化推進事業

写真は、さまざまな企業や団体、市役所など46ブースが出展した「中学生メッセージ」の風景です。「中学生メッセージ」は、岡谷市中学校校長会の企画で、今年度より全4中学が初めて集っての開催だそうです。岡谷市議会も参加し、クイズも取り入れ、生徒さんたちに議会の仕組みや役割を紹介しました。



イベント参加

市議会をひら

市民の皆さんに議会について知っていただき、そして、



議会のひろば

市議会の取り組みを広報できる最も基本となるツールです。概ね3か月ごと年4回発行し、基本的に市内全戸に配布されているほか、市役所やコンビニエンスストア等でも手に取っていただけます。

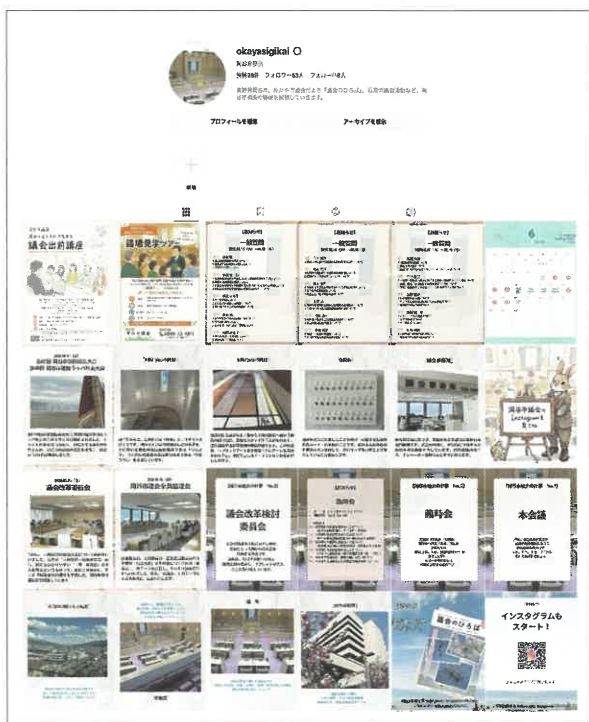
主な内容として、各議員の一般質問の要約や議会の議決の結果のほか、市の様々な事業の議案等に対し、主な質疑や討論などを掲載し、市民の代表としての立場で、検討のプロセスをまとめています。また、議会としての取り組み等の特集ページもあります。

日常生活の様々な場面でデジタル化が進展するなかでも、この広報誌により、市内のより広い世代の方に、議会の取り組みを、じっくりと手に取って読んでいただくことができますと考えています。

SNS

これまでは、フェイスブックにより、議会が始まるという告知と広報誌「議会のひろば」の発行に関する告知を主に発信してきましたが、発信内容を広げることと決めました。さらにインスタグラムのアカウントもオープンしました。特にインスタグラムは議会の入門的な内容を掲載しています。

フェイスブックにはそれに加えて、長文の投稿もしようと考えています。ぜひフォローをしてください！



Instagram

登録してね



Facebook



Q 分娩を取り扱う医療機関が減少しているが？

A 本市では、本年3月末にすべての医療機関の分娩取り扱いが停止。しかし、諏訪地域の中では出産環境は確保されている。出産に向けた身近な支援を丁寧に継続する。



秋山 良治



Q 少子化加速に対しての危機感はあるか？

A 人口減少は、将来の担い手不足につながる喫緊の課題である。

Q 助産師の役割は？

A 若い世代への教育から妊娠、出産、子育てまで幅広く地域の母子保健を支える大切な存在。

Q これからの、安心して子どもを産み育てられる環境づくりは？

A 岡谷市の将来を担う子どもたちと、その家族を支えるうえで、大変重要な取り組み。本市で安心して子育てをしてもらえるよう、環境づくりに努める。

食と農をつなぐ自治体連携について

Q 市内農業についての課題認識は？

A 農業者の高齢化、離農、これに伴う遊休農地増加、後継者不足、新



安心して出産できる環境を

たな担い手の確保と育成が課題。遊休農地の増加は害虫・有害鳥獣の温床となり、周辺の健全農地への影響。保水力や土壌の固定力喪失に伴い、豪雨時の土砂崩れ等、農業分野以外にも生活環境や防災機能など広範囲にわたる悪影響を及ぼす。また、農地は一旦荒れると元に戻すのに労力と費用を要する。食料危機など「いざ」と言いつ時に、地産地消の基盤となる農業は市民の食を守るために必要不可欠な産業である。

Q 市内で生産された農産物の市内での消費量は？

A 調査等の実施はない。把握しているところで、小中学校の給食で玉ねぎ、じゃがいも、大根、白菜、長ネギなどを年間約5,730kg利用。

Q 岡谷の魅力を未来へどうつなぐか？

A 岡谷が大切に育んできた自然・歴史・ものづくり文化を未来へつなぎ、地域資源を生かし交流人口を拡大し、郷土への誇りを育むまちづくりを進めます。



土橋 学



Q 映画やドラマのロケ地、やまびこ公園などの地域資源をどう観光振興に生かすか？

A 市はロケ地誘致やSNSによる情報発信を進めている。やまびこ公園やプリンス&スカイラインミュージアムなどの地域資源を点ではなく面として一体的に発信し、市内周遊や滞在時間の延長を図り、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげる。やまびこ公園の利用者数も増加しており、今後は信州デスティネーションキャンペーンなどによるさらなる誘客を見込んでいく。

ものづくり文化を未来へ

Q 技術者精神やものづくり文化をどう継承するか？

A プリンス&スカイラインミュージアムやシルク岡谷、近代化産業遺産を活用し、製糸業から精密工業へ

郷土への誇りを育む

Q 子どもたちへ地域の魅力をどう伝えるか？

A 岡谷スタンダードカリキュラムやものづくり体験、ものづくりフェア、中学生向け企業講師事業などを通じ、地域産業や技術に触れる機会を充実させている。地域で活躍する人々との交流を通じ、歴史や文化への理解を深め、郷土への誇りと愛着を育み、将来の地域産業やまちづくりを担う人材の育成につなげていく。



子どもたちが「岡谷ってすごい」と誇れるまちへ

Q 全国で燃やすごみ指定袋が不足しているが、岡谷市は？

A 指定ごみ袋は、市が指定する問屋4社により供給されており、流通の安定化が図られている。製造の遅延・在庫不足に繋がる過度な買い占めは控えてほしい。



今井 浩一



Q 燃やすごみ指定袋の料金は？

A 指定袋の収集、運搬および処分にかかる処理手数料として、指定袋に証紙を付し、袋1枚あたり、45Lが60円、22Lが25円、10Lが10円。小売店では、証紙代に袋の製造コスト及び小売店の販売利益を加えた価格で市民に販売されている。

笠原書店で「返却サービス」開始

Q 「読書は体験」であり、図書館は「人が主役」の場所である。図書館の事業は今年度どの部分を継続し、新たに発展させていくのか？

A 図書館は、本を貸し出すだけではなく、人が集い、出会い、興味や関心を高め、体験できる場。今年度は、これまでのイベント等がより効果的な取組となるよう、他部署との連携や内容の見直し等を進める。また、大人向けのイベント等を充実して、利用者の増加させる。7月に

は「大人のための映画会」を15日に実施。さらに図書館を支える地域人材の育成にも力を入れたい。隣接する岡谷市民病院との連携イベントも検討している。

Q 今年度の地元書店とのコラボ企画は？

A 7月から試行的に、図書館で借りた本を笠原書店岡谷本店の店内カウンターで返却できるサービスを始める。返却対象は、本のほか、CDやDVDも取り扱う。岡谷図書館のほか諏訪6市町村の公立図書館で借りた本等も返却可能となる方向で調整を進めている。その他、岡谷図書館で今年度発行予定の「みんなに読んであげたいおススメ絵本」のブックリストの完成に合わせ、笠原書店ではブックフェアを開催する予定。地元書店との連携を通じて、読書をする人を増やし、図書館や地元書店の魅力向上につなげていきたい。



図書館で本の貸し出し風景

Q 諏訪地域の医療機関との医療連携への考えは？

A 岡谷市民病院の多機能病院としての機能を維持しながら、地域の医療機関との連絡を密にして連携の強化・充実を図っていく。



中島 秀明



Q 岡谷市民病院の特長と強みは？

A 総合診療科など31の診療科と急性期・週末期までの病棟や感染症指定医療機関に加え、予防医療の拠点機能を持つ多機能病院であり、地域で唯一の地震性能を備えた医療施設で大規模地震でも総合医療を維持できる。

Q 地域連携における岡谷市民病院の係わりと今後の方向性は？

A 地域医療構想には強制力や法的拘束力がなく、また、地域医療構想調整会議でも個々の医療機関の経営状況や運営方針の議論がないこと等、医療連携への議論はあまり進んでいないが、岡谷市民病院としては、地域医療連携の必要性や重要性を認識する一方で、「多機能病院の維持」を方針としており、連携による「機能や役割分担」を進める考えはない。また、若い医師や職員から選ばれる病院づくりを目指し、新たな医療への挑戦などと共に、「市

民病院として今ある多機能の維持」に向けた努力を継続していく。

Q 地域の小規模の商店や飲食店等の事業承継への考えと支援は？

A 商店や飲食店などの事業承継は、商業振興や地域の活性化に繋がることから重要性の認識はしており、固有の味や顧客情報、ブランドなどの有形・無形資産の承継に向けて、岡谷商工会議所や金融機関などと連携して、事業承継に繋がる店の魅力や情報発信力の向上への支援をしていく。

要望…専門アドバイザー等による小規模商業事業者の事業承継に向けた支援の強化と専用の情報発信サイトを要望。



地域事業者の事業承継



Q 国の部活動のガイドライン見直し後の地域展開の現状は？



A 地域移行から地域展開・地域連携に名称が変更。改革期間も13年度まで延長。軟式野球や女子排球など一部で地域クラブへの移行が段階的に進んでいる。



小松 壮



Q 地域展開を進める上での主な課題は？

A 受け皿となる指導者や団体の確保が一番の課題。また、保護者の費用負担や練習場所への移動手段なども課題であり、丁寧な説明と協議を継続しながら取り組んでいる。

Q 諏訪湖周の賑わい創出について

Q 賑わい創出に向けた市の取り組みは？

A 諏訪湖SIC開通後の利用者増に対応し、岡谷湖畔公園で「手ぶらバーベキュー」の社会実験を実施。湊湖畔公園では県と連携し、施設整備を進めている。

Q 今後の諏訪湖周の活性化に向けた展望と課題は？

A 湊湖畔公園を民間事業者の商業利用が可能な「河川空間オープン

Q 消防団の状況について

Q 岡谷市の消防団員の現状と課題は？

A 条約定数549人に対し実員386人（充足率70%）と、全国的な傾向と同様に団員数の減少が進んでいる。

Q 団員確保と今後の組織運営について、どのような対策を講じるか？

A 情報発信や勧誘活動のほか、協力事業所制度や無料入浴券配布などで活動環境を整備している。条約定数の見直しや活動体制の変更など、持続可能な組織を目指す検討を進めていく。



子供たちの運動環境を継続



Q 高額医療費制度とOTC類似薬の保険外しへの把握は？



A 自己負担限度額の一部引き上げや所得区分の細分化などの見直しが行われる。OTC類似薬は対象となる一部の医療用医薬品について自己負担額に加え、別途薬剤費の4分の1の負担が設けられる。



笠原征三郎



Q 患者負担への対応は？

A 高額療養費については7月に各世帯に制度の概要を記したチラシを国民健康保険税納税通知書に同封する。OTC類似薬については国の詳細が確定次第、速やかに周知していく。

Q 国民健康保険税の軽減

Q 令和7年度の決算は？

A 実質収支、単年度収支ともに黒字となる見込み。

Q 基金を取り崩して国保税の値下げは？

A 都道府県化以降は財政運営の責任が都道府県に移行している。基金の意義も少しずつ変化している。基金の必要かつ計画的な活用は念頭に置きつつ、国民皆保険制度の安定的な運営に努める。

Q 物価高騰対策

A 国・県の支援策の動向を注視しながら、適時適切な施策の検討をしていく。

Q プレミアム付商品券事業の実施は？

A 国からの交付金を活用して支援について検討を深める。

Q 中学生給食完全無償化

Q 現状は？

A 公費負担割合を約30%に拡大している。

Q 非喫食児童生徒への給食費相当額の支給は？

A 国の交付金要綱では非喫食者に対する給付も認められている。国・県の対応を踏まえ、非喫食者に対する支援を検討する。



暮らしが大変

ナフサ不足の影響は？

工業、農業、建設業、商業など産業全体に影響がある。原材料費や仕入れコストの増加などによる収益への影響を懸念する声もあり、経営面にも一定の影響が及ぶと認識している。



早出すみ子



Q 病院事業への影響は？

A 使い捨て医療資材について「供給遅れ」「価格高騰」への影響が懸念される。発注方法や在庫管理を見直している。医療グローブは4円から、6.6円に値上がりしている。欠品のないように納入業者と調整している。

Q 市の事業への影響は？

A 建設工事の価格の上昇はある。工期及び納期の遅延は発生していない。

Q 国・県への要望は？

A 全国市長会を通じて要望する。先行きが不透明な状況があるので市内の実態を把握し、必要に応じて適時適切に対応する。

子どもの医療費窓口負担無償化

Q 県内の動向は？

A 77市町村のうち、52市町村にて実施している。令和8年度から、茅野市が実施になる。

Q 対象年齢の推移は？

A 令和5年度は6730人。

A 令和6年度は6485人。

A 令和7年度は6248人。

Q 市の考えは？

A 医療費は平等に最低限の負担が存在する制度であり、慎重に検討する。

要望…お金の心配なく、医療にかかれる支援実現を!!

市役所のトイレ環境改善

Q 現状は？

A 52力所あり、和式30力所。洋式19力所。洋式化率42.3%。

Q 今後の改修計画は？

A 必要に応じて取り組む。要望…2階の和式トイレの改修を。



ナフサ不足

指定避難所等における非常用電源の整備状況は？

指定避難所等において、太陽光発電設備と併せた蓄電システムは整備されていないが、現在整備を進めている川岸学園において設置する予定になっている。



藤森 弘



Q 停電時に自動で自立運転に切り替わり、避難所の照明や通信機器等を一定時間維持できる体制が整っているか？

A 各避難所へ発電機を整備しているほか、中部電力と電力供給の協力に関する協定、日産自動車と電気自動車や可搬型給電器を原則無償で貸与していただける協定を締結している。

小中学校の余裕教室の現状

Q 通常学級として使用されていない余裕学級の現状は？

A 小中学校の普通教室は10年前と比べると36減となっている。その一方で、特別支援学級、心の教育相談室、不登校児童生徒の居場所となる校内教育支援センター、少人数学級、外国語教室、児童会室や生徒会室、学童クラブ室などに転用されている。

おり、空間として空いている余裕教室はない。

Q 地域住民が学校に関わるための拠点としての活用は？

A 地域ボランティアの活動拠点、地域交流室、放課後居場所づくりの拠点などとして利用している。

温泉の利活用について

Q 下諏訪・岡谷・辰野の温泉を観光資源とする「温泉地スタンプラリー」のような企画を考えられないか？

A 広域での周遊性を生み出すうえで魅力的なものと思っている。広域連携事業は各自治体との調整が必要となるため、それぞれの市町と密に連携を図りながら、実現の可能性や効果について検証を進めていきたい。



温泉地スタンプラリー

本年度の「地方創生伴走支援制度」の取り組み内容は？

昨年度の助言や提案から事業化した「岡谷市産業PR事業」「すべての人に選ばれる職場ショート動画でPR事業」「遊休農地で農ある暮らし事業」の着実な実施と引き続き地域資源を活用した魅力発信。



田村みどり



Q 若者と女性に選ばれるまちづくりは本市にとっても大きな課題であるが、地方創生伴走制度を活用しながらの今後の取り組みは？

A 地方創生支援官との協議の中でも、効果的な施策の立案について提案があり検討を進めている。今後は、首都圏大学の教授や就職支援担当者との情報交換の実施、大学生や市内高校生へのアンケート調査を行い、若者や女性が岡谷市で働き、生活の拠点として選択肢となりうるためのポイントや要件を探っていく。

Q 今現在、働きながら生活の拠点としての岡谷市が選ばれるとするなら、どのような点があるのか？

A 市内企業に対してワークライフバランスや安心して働けるよう心理的安全性高い職場づくりに向けた伴走支援を実施。豊かな自然に囲まれ、医療、買い物、日常生活に利便性の高いコンパクトシティであるので、

熊の被害防止対策

Q 市内でもツキノワグマが出没しているが、熊の被害防止対策について、国や県の方針を踏まえての市の対応は？

A 近年の熊の分布拡大と人身被害の深刻化を受け、環境省は、クマを従来の保護中心から「被害防止・削減に向けた個体数管理」へと方針を転換。長野県はツキノワグマ管理基本方針を定め、それにより、本市は「岡谷市ツキノワグマゾーニング管理実施計画」を策定した。本計画ではゾーニング

により熊の生息域と人の生活圏を明確に区別し、「緊張感ある共存関係の再構築」と「計画的な保護管理」を目指す。



暮らしやすいまち

令和8年第4回定例会

主な予算の審査結果

令和8年6月11日から23日の13日間の会期で開かれ、議案等28件が審議されました。

◆ 議案の概要

令和8年度補正予算（第2号）

国などの補助金の採択に伴うシティプロモーション事業及びコミュニティ事業費のほか、LAKESUWAWONDERLANDプロジェクト、おかやファンクラブ事業、最高裁判決等を踏まえた生活保護費の追加給付に必要な扶助費等を追加するもの。総額5千224万4千円を追加するもの。

3 常任委員会に審査付託

◆ 総務委員会

市制施行90周年記念事業負担金では、「うなぎロックフェスティバル」を核とした記念イベントの経緯や、市が広報面で協力する体制について質疑。市長を名誉実行委員長とする実行委員会形式で、市制90周年を盛り上げる計画である。シティプロモーション業務委託料では、首都圏を中心とした全国放送テレビ番組制作を計画。放

送後の見逃し配信や二次利用も予定されており、移住定住促進や関係人口創出への効果が期待。質疑討論の後、委員会において全会一致で可決すべきものと決定。

◆ 社会委員会

国が違法と判断された生活保護費の減額に伴う関連費について審査。廃止世帯への給付方法は、本人からの申出書提出後、審査を経て振込み。対象は、保護受給中・廃止世帯合わせて約360世帯。1世帯当たり平均6万7千円が7月から支給開始。プッシュ型支給は当月で終了の見込み。質疑等論後、委員会で全会一致で可決すべきものと決定。

◆ 産業建設委員会

ブランド推進費について審査。岡谷のシルクを活用したインバウンド観光創造事業と、岡谷ファンクラブ事業が主要事業。シルク観光創造事業は、公募型プロポーザルで業者を選定し、養蚕から製糸までの一貫した高付加価値体験ツアーを造成。海外からの観光客誘致と地域経済活性化を目指す。今年度はコンテンツ造成や販路構築、モニターツアーを実施。岡谷ファンクラブ事業は市外へ魅力をPR

するものである。質疑討論の後、委員会において全会一致で可決すべきものと決定。

◆議案第52・53号

市道路線の廃止、変更

産業建設委員会に審査付託

議案の概要…一級河川横河川の河口付近にある人道橋「千鳥橋」の廃止に伴う、路線の整理をおこなうもの。

審査の概要…現地調査において、人道橋廃止及び路線の変更に伴う道路使用等への影響など考慮の上、可決すべきものと決定。



千鳥橋

請願の審査

請願7号 消費税率

5%引き下げに関する意見書の提出を求める請願

総務委員会において審査を実施

(意見陳述者出席)

請願の主旨…物価高騰と経済停滞の中、国民負担軽減と景気回復のため消

費税率引き下げが必要であり、財源は法人税・所得税の見直しで確保可能。
審査の視点…請願の意図や財政への影響

討論…賛成意見は国民生活保護と逆進性は正を強調。一方、反対意見は消費税の重要財源性を挙げ、財源確保や地方財政・社会保障への影響を懸念。審査の結果、賛成少数により請願は不採択。

請願の審査

請願第8号 ホルムズ海峡封鎖等の

影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願

産業建設委員会に審査を実施

(意見陳述者出席)

請願の主旨…原油・ナフサ不足による生産停滞の懸念や、市による特別な支援の必要性を主訴。

審査の視点…建築資材や車の部品など市内事業者への影響や、緊急対策の具体性、今後の見通し

討論…請願の趣旨には理解を示しつつも、具体的な支援策（融資、税金減免等）は大規模な財政負担を伴い、既存制度との整合性やモラルハザードの懸念があること、また現状が大規模支援を要するほどではないとの意見が多数を占め、不採択とすべきものと決定。

○令和8年第4回定例会（全会一致で可決等された議案等）

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第42号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第53号	市道路線の変更について
議案第43号	岡谷市農業委員会委員の任命について	議案第54号	令和8年度岡谷市一般会計補正予算（第2号）
議案第44号	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	議案第55号から第58号	工事請負契約について
議案第45号	工事請負契約について	議案第59号	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書
議案第46号から第50号	工事請負契約の変更について	議案第61号	新型コロナウイルスワクチンに関する継続的な検証と情報公開の充実を求める意見書
議案第51号	財産の取得について		委員会特定事件継続調査及び議員派遣について
議案第52号	市道路線の廃止について		

○令和8年第4回定例会（賛否が分かれた議案等及び議員の採決態度一覧）

議案番号	件名	議決結果	吉田浩	秋山良治	土橋学	花岡健一郎	小松壮	山崎仁	藤森弘	宇野香二	田村みどり	丸山善行	上田澄子	酒井和彦	今井浩一	渡辺太郎	今井康善	中島秀明	笠原征三郎	早出すみ子
請願第7号	消費税率5%引き下げに関する意見書の提出を求める請願	不採択	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠	○
請願第8号	ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願	不採択	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠	○
議案第60号	「憲法改正」に反対し、改憲発議を行わないことを求める意見書	否決	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠	○
議案第62号	入管法改定における在留手数料の大幅な引き上げの撤回を求める意見書	否決	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠	○

議長は議長職のため採決に加わらない。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 趣：趣旨採択。請願の趣旨については採択する。

古きを温ねて新しきを知る

岡谷市
今昔物語

みんなと歩んだ100年



湊尋常高等小学校 (湊小学校開校130周年記念誌より)

湊尋常小学校



小口太郎顕彰碑



湊支所

岡谷市立湊小学校は令和5年に開校150年を迎えました。明治6年、当時の筑摩県諏訪郡湊村の村立湊国民学校として開校。湊尋常小学校となり、昭和30年には湊村が岡谷市へ編入され、岡谷市立湊小学校になりました。校舎は少し高台の、湊支所の場所にあったそうです。書籍「美しい小学校」に掲載された現在の校舎が建てられたのは、昭和48年のこと。「琵琶湖周航の歌」を作詞した小口太郎さん(明治30年～大正13年)が通っていたことから、校内に展示コーナーがあります。

令和8年第3回臨時会が5月に開かれました。

令和8年5月14日の1日間の会期で開かれ、議案等6件が審議されました。

主な議案の概要

議案第40号 令和8年度
岡谷市一般会計補正予算

国庫補助金の採択により、川岸学園整備事業(①)及び岡谷駅周辺整備事業(②)の財源校正、①において、物価高騰や労務単価の上昇によるインフレスライド条項の適用による工事請負費の追加、①及び②における債務負担の変更、医師確保就学支援助成金の計上等を行うもの。

審査概要

総務委員会…①の第2期工事における増工の内容について質疑。地下埋設物の追加撤去や既存躯体の補修、仮設計画の変更に伴う工事費追加がその理由である。

社会委員会…岡谷市民病院の医師確保を目的とした就学支援助成金について審査。県外から岡谷市内の指定医療機関に常勤医師として定年数勤務する医師を対象に、200万円等を支給する制度である。過去1件の支給実績。

産業建設委員会…②の国庫補助の内示率の概要と今後の見込みの質疑。内示率80%は事業への国の高い評価の表れ。今後5年間の国の補正予算動向も踏まえ、適切な事務と要望を通じて財源を確保し、事業を確実に実施する。

各委員会において、可決すべきものと決定。その後本会議において全会一致で可決。

令和8年第3回臨時会(全会一致で可決等された議案等)

議案番号	件名
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度岡谷市一般会計補正予算(第15号))
議案第40号	令和8年度岡谷市一般会計補正予算(第1号)
議案第41号	令和8年度岡谷市病院事業会計補正予算(第1号)

○令和8年第3回臨時会(賛否が分かれた議案等及び議員の採決態度一覧)

議案番号	件名	審議結果	吉田 浩	秋山 良治	土橋 学	花岡健一郎	小松 壮	山崎 仁	藤森 弘	宇野 香二	田村みどり	丸山 善行	上田 澄子	酒井 和彦	今井 浩一	渡辺 太郎	今井 康善	中島 秀明	笠原征三郎	早出すみ子
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例の一部を改正する条例)	承認	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×

議長は議長職のため採決に加わらない。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 趣：趣旨採択。請願の趣旨については採択する。

編集後記

現在、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただくべく、SNSを活用した情報発信に力を入れています。フェイスブックでは定例会をはじめとする議会活動全般をお伝えし、インスタグラムではそれに加え、議会の日常の様子を積極的に紹介しています。議会にあまりなじみのない方にも、その役割や活動を分かりやすくお伝えできるように努めています。ぜひ一度ご覧いただき、議会を知ってください。また今後は、議場見学ツアーや議会出前講座の開催も予定しています。市民の皆さまと議会との距離を縮め、より開かれた議会を目指してまいります。(丸山善行)

ご意見・ご要望

市議会だよりについてご意見・ご要望を受け付けています。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL：23-4811 (内) 1711
FAX：22-6213
メール
gikai@city.okaya.lg.jp

委員 副委員長 委員長

丸山 善行
小松 弘
藤森 壮
早出すみ子
中島 秀明
今井 浩一
山崎 仁

広報広聴委員会